

(様式第3号)

パブリックコメント（意見公募）手続による意見募集の結果公表

意見募集結果及び寄せられた意見に対する市の考え方について、次のとおり公表します。
ご協力に感謝申し上げます。

【意見募集の集計結果】

1	案 件 名	千歳市交通安全計画（第10次）(素案)	
2	意見募集期間	平成29年1月18日（水）～平成29年2月13日（月）	
3	意見の件数（提出者数）	4件（ 2人）	
4	意見の取扱い （対応内容の分類）	案を修正するもの	1件
		既に案に盛り込んでいるもの	件
		今後の参考とするもの	2件
		意見として伺ったもの（案件に直接関係がないため）	1件
5	意見の受け取り方法	電子メール	1人
		郵送	人
		ファクシミリ	人
		意見箱	1人
		直接持参	人

【市民意見等の概要とそれに対する市の考え方】

	市民意見等の概要	件数	市民意見等に対する市の考え方
1	交通事故の発生状況について、右折信号待ち、追突など、具体的な分析や統計はとっていないのか。	1	<p>分類～</p> <p>交通事故のうち、右左折時、追突など「事故類型別発生状況（車両相互）」につきましては、本計画書の付属資料「千歳市の交通安全・交通事故に関する状況」に北海道警察の交通事故分析統計資料からデータを抜粋して追加掲載いたします。</p>
2	他市でも最近始められている車の衝突回避システムを搭載している車両を購入した場合、市が補助金を出すというのは不可能か。	1	<p>分類～</p> <p>先進安全自動車（ＡＳＶ）のうち、衝突被害軽減ブレーキなど市場化されたＡＳＶ技術につきましては、国、北海道は、その普及促進のため、義務化も含めた保安基準の拡充強化、補助制度の拡充を図るとしており、本計画の「第２部 分野別の施策 第１章 道路交通の安全 ４．車両の安全性の確保」において、市としては国、北海道等と連携して市民へ情報提供等に努めることとしています。</p> <p>現時点で、当市独自の補助金制度を創設する考えはありませんが、国等の動向も踏まえ、国、北海道等と連携して普及に向けた啓発に努めてまいります。</p>

3	<p>千歳市における踏み間違いによる事故件数は多くないと思うが、時代の流れをとらえるという意味で、踏み間違いを防止する装置の購入者への補助金があっても良いと思う。</p>	1	<p>分類～</p> <p>No.2と同様、市場化されたASV技術につきましては、国、北海道は、その普及促進のため、義務化も含めた保安基準の拡充強化、補助制度の拡充を図るとしております。</p> <p>市といたしましては、現時点で当市独自の補助金制度を創設する考えはありませんが、国等の動向も踏まえ、本計画にお示ししたとおり、国、北海道と連携して、市民への情報提供等に努めてまいります。</p>
4	<p>午前8時から午前10時の間に、長都駅から新千歳空港行きの千歳相互バスを1便増便してほしい。</p>	1	<p>分類～</p> <p>交通安全計画は、歩行者の交通事故防止対策など、交通事故から住民の生命、身体、財産を保護することを目的に定めるものであり、バス路線の増便等については本計画に反映させる事項ではありませんが、いただいたご意見につきましては、今後のバス路線などの公共交通施策の参考とさせていただきます。</p>